

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	商工会議所地域総合振興等支援事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	07	01	02	02	04
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工振興課				
施策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化		主管課長	渋谷 俊之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山商工会議所	意図	市内商工業の振興に寄与する。
事業内容	本市商工業の総合的な改善・発達の中心的な役割りを果たす流山商工会議所の事業に対し、補助金を交付する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度に流山市商工会は流山商工会議所に改編されたことから、独自事業の展開を図り、自主財源の確保による収益増を目指すとともに、市内商工業者の育成に貢献することで市の経済的な発展を見込んでいる。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	商工会議所会員数	1,524	1,573	1,603	社	↑↑↑	実績より
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,843,250	7,835,600	7,829,600	平成22年度に商工会議所に組織改編後、独自の収益事業を展開しながら、会員の加入を促進し、組織強化を図っている。市内商工業者に対する経営相談や各種研修会、講演会の開催や事務の代行を実施するとともに、検定等の自主事業の実施により、経営の改善に努めているが、収入に結び付いていないのが現状である。			
事業費(b)(円)		7,500,000	7,500,000	7,500,000				
うち一般財源		7,500,000	7,500,000	7,500,000				
職員給与費(c)(円)		343,250	335,600	329,600				
人役・職員(人)		0.05	0.05	0.05				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	商工会議所の自主事業等による採算性を向上を図る。	③取組における課題(Check)	商工会議所独自の自主財源確保のための自主事業等の拡充が要求されている。
②H30に実施した取組(Do)	商工会議所が実施する事業、会議に出席し、積極的に情報の提供や協力、支援を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	会議所の実施する地域振興事業が、市内商工業の活性化に直結することから、引き続き組織強化のための支援を行っていく。